

先生のための特別鑑賞の時間 2019

展覧会鑑賞と担当学芸員による解説、鑑賞授業案についての意見交換を行います。



- 会場 神奈川県立近代美術館 葉山および鎌倉別館
期間 2019年5月より2020年2月まで（全8回）
具体的な日程と内容は裏面をご覧ください
時間 午前10時～12時
対象 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、教育委員会、社会教育施設（公民館等）、
学習支援を目的とする非営利団体等に所属し、教育活動に従事する方
参加費 無料
申込 当館ウェブサイトの「先生のための特別鑑賞の時間」申込フォームより、
開催日の一週間前までにお申込みください

* 葉山館の駐車場は有料です。また、鎌倉別館に専用駐車場はございません。

* お申込後にやむをえず欠席される場合は、必ずご連絡ください。

無断キャンセルが続く場合、参加をお断りする場合があります。

* 「Museum Box 宝箱」の貸出、学校などへの出張授業、団体来館時の解説なども承ります。お気軽にお問い合わせください。

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel.046-875-2800

JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11,12系統(海岸回り)」で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要時間約20分)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 Tel.0467-22-5000

JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、徒歩約15分

※鎌倉別館は改修工事のため2019年9月(予定)まで休館しています。

美術館公式ウェブサイト <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>  KanagawaMoMA



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館

第1回

5/11(土)

葉山

日本・ポーランド国交樹立 100 年記念 ポーランド・ポスター展

神奈川県立近代美術館は、日本でいち早く 1975 年と 1980 年に旧鎌倉館でポーランドのポスターを紹介する展覧会を開催しました。そして、その出品作品を含む 1960 年代と 1970 年代を中心とするポスター 290 点が 1980 年にポーランド政府から寄贈されました。この度、ワルシャワ国立美術館の分館ヴィラヌフ・ポスター美術館の協力を得てそれらを改めて調査・整理し、14 作家 176 点によるポーランド・ポスター黄金期の作品を展覧します。

第2回

5/25(土)

葉山

コレクション展 彫刻のある風景

当館における野外での彫刻展示の歴史は、開館してまもない 1950 年代に始まっています。本展では、第二次大戦後の世界的な動向を受けて旧鎌倉館で開催された野外彫刻展に出品していた作家の同時代の作品をはじめとして、彫刻家の様々な試みを当時のポスターやパンフレットも交えながら展示し、加えて現在の当館庭園に展示されている作家たちの作品を紹介します。

ゆのき さみろう

柚木沙弥郎の「鳥獣戯画」

染色家・柚木沙弥郎（1922-）が民藝との出会いを機に染色の道を志したのは終戦直後のこと。以後 70 年余にわたり、日々の生活で「もの」に触れ、ふと気づいた喜びを豊かな色と形に染め抜いてきました。その創作世界は染色にとどまらず、絵本、版画、立体と幅広いものです。本展では古典絵巻の「鳥獣戯画」に取材した新作をはじめ、近作の絵本『雨ニモマケズ』の原画や当館の所蔵作品を紹介し、作家の「今」を伝えます。

第3回

7/27(土)

葉山

みえるもののむこう

生（せい）の美しさを世界に探り、眼に見えるかたちにして、作品へと映し出すアートの力。眼と精神、そして身体を同時代の空間に置き、そこから見えるものとその向こうに感じ取ったものを表現に起こしていく清新な感性の今を、絵画・写真・インスタレーション・映像・ダンスなどの多様なジャンルで展開する 5 人の現代作家、一之瀬ちひろ（1975-）、酒井幸菜（1985-）、白石由子（1956-）、津上みゆき（1973-）、三嶽伊紗（1956-）の仕事を通してとらえます。

第4回

8/10(土)

葉山

コレクション展 音をみる、色をきく 美術が奏でる音楽

美術作品の中には、音を視覚的に表現したものがあります。絵の中の人物が楽器を演奏したり踊っていたり、楽譜や音楽記号をモチーフにしたものや、楽曲のようなタイトルがついた作品もあります。また、自然を描いた作品からは雨や風の音が、街を描いた作品からは喧噪やざわめきが聞こえてくるようです。絵の中の色と形の響き合いが音楽のハーモニーやリズムにも似た感覚を私たちに届けてくれる、さまざまな作品をお楽しみください。

第5回

9/28(土)

葉山

第6回

10/26(土)

鎌倉別館

鎌倉別館開館 35 周年／リニューアル・オープン記念展 ふたたびの「近代」

2016 年に閉館した旧鎌倉館の歴史と伝統を受け継ぎ、常に新たな眼で世界の美術を捉えるという開館以来の理念を再確認しつつ、鎌倉別館は新たなスタートを切ります。岸田劉生《童女図（麗子立像）》、古賀春江《窓外の化粧》、松本竣介《立てる像》といった当館を代表する近代美術の名品にとどまらず、近世から現代まで幅広く作品を紹介する本展では、記念イベントや美術館アーカイブの資料展示も行い、鎌倉別館の新たな魅力をお伝えします。

第7回

11/9(土)

葉山

日本・フィンランド国交樹立 100 年記念 没後 30 年 カイ・フランク

カイ・フランクは、機能美に富んだ日用品を数多くデザインしたことから「フィンランド・デザインの良心」と称される、同国で最も偉大なデザイナーの一人です。日本初の大規模な個展となる本展では、アート・グラスや当時のプロダクトなど代表作約 150 点を展示し、このデザイナーの全貌に迫ります。また、1950 年代の来日時に作家自身が撮影した写真や資料なども紹介し、この作家の日本への深い関心とそのつながりを明らかにします。

第8回

2/22(土)

鎌倉別館

生誕 120 年・没後 100 年 関根正二展

大正という激動の時代を駆け抜け、20 歳でこの世を去った画家、関根正二（1899-1919）の、当館では 20 年ぶりとなる回顧展です。《姉弟》《三星》などの稀少な油彩作品をはじめ、素描、書簡などの未公開資料を交えて関根正二の世界を紹介します。